

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年2月1日

事業所名 Withひろば真備

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0	限られた空間の為、同じ空間に密集しないようにスケジュールを設定をしています。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0	配置基準の2名に加え、2名多くの職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	1	構造化はお子様の状態に合わせてながら行っています。お子様の成長に合わせて必要に応じて改善していきたいと思います。玄関先は階段でバリアフリーになっていない為、必要に応じて検討していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	3	0	ボックスや本棚など買い替えも行っていきたいと思います。構造上の課題でもありますが、衝立の木の隙間、窓のさん等引き続き意識的に掃除していきたいと思います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0	お子様が帰られた後、昼と夕方の時間に情報交換を行っています。また、スーパーバイズに入っただく際には事前の話し合いを行い、質問したいことを共有しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	保護者の方のご協力のもと、実施させていただきました。ご協力、ありがとうございました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	保護者の方のご協力のもと、実施させていただき、リンクHPに公開させていただいています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	0	2か月に1回、外部の大学教授にスーパーバイズに入っただくいただいています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	研修案内を回覧して希望者を募ったり、第3土曜日に事業所勉強会、第5土曜日に早島と合同勉強会を実施したりしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0	利用開始時や毎年4月にニーズシートを記入していただいたり、懇談時にニーズをお聞きしたりして児童発達支援計画書を作成しています。また、NCプログラムや人と関わりのレベルシート等でもアセスメントは行っていますが、分析しきれないこともある為、改善していきたいと思います。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	複数の評価ツールを組み合わせ、お子様の姿を捉えられるようにしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	0	令和6年度から本人支援は5領域を網羅した支援計画も意識して作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	0	連絡帳にもねらいを記載したり、支援計画書を連絡帳に挟んだりして、ねらいを押さえながら支援が提供できるように心掛けています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	1	曜日担当で立案している為、チームとしても視点をもう少し取り入れていきたいと思います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	同じ活動が続かないように工夫はしています。達成まで繋がりをもって設定できるようにしていきたいと思います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0	お子様の状態・課題によって、どの場面で取り組むとよいかを意識しながら児童発達支援計画書を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4	0	職員が全員揃って打ち合わせは難しいですが、担当がそれぞれの職員に話をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	共有のみで終わったりしているケースもある為、方向性のみまで共有できるようにしていきたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	連絡帳の記録はとれています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	5ヶ月に1回は見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	担当者や管理者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	0	必要に応じて、連携をとらせていただいています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	6	該当者なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	6	該当者なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	0	保護者の方のご意向や必要に応じて実施させていただいています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	0	保護者の方のご意向や必要に応じて実施させていただいています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	児童発達支援部会へ参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	1	並行通園されているお様がほとんどです。その為、意図的に交流の機会は設けていません。今後要望をいただいた場合に検討していきたいと思います。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	0	児童発達支援部会や母子保健連絡会に参加させていただきました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎の際や連絡帳にてWithひろばでの様子や家庭での様子等の情報交換をさせていただいています。今後も、細やかな情報交換ができるように努力していきたいと思います。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	0	今年度も9月・10月11月で、わくわく子育て勉強会を早島と合同で開催しました。ご参加ありがとうございました。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	必ず、契約前にご説明させていただいています。玄関にも掲示して、いつでも見ていただけるようにしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	0	ガイドラインに沿って、計画を立てており、保護者の方にも同意をいただいています。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	0	必要な支援を行えるように心掛けてはいますが、適切な助言ができるように努力していきたいと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	親子参加型療育や勉強会の開催などで保護者の方同士が情報共有できる時間は設定させていただいています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	何でも相談箱も設置しております。また、相談等迅速には対応できるように心掛けています。

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	2ヶ月に1回、Withひろばだよりを発行しています。その中で、子育ての情報や行事予定等をお伝えしています。今後も内容が充実するように努力していきたいと思います。また、年に数回法人の広報誌も発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	0	日頃から配慮するように心掛けています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	視覚支援の活用や環境設定、わかりやすい説明等を心掛けています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	3	案内等は掲示して、情報提供を行えるようにはしていますが、地域の方を招待する行事は行えていません。今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	0	職員間での周知はできています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年4回の訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0	0	服薬に変更があった場合はご連絡いただければと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	2	医師の指示書の提出まではお願しておりませんが、契約時に必ず確認させていただいています。おやつを提供する際は二重チェックをしております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリとしたことが起きた場合は、書類を記入して、職員間で周知しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	法人内に障がい者虐待防止・人権擁護委員会を設置しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	0	今年度は対象の方がおられませんでした。今後、身体拘束の必要性が出た場合は必要な手順を踏んでいきたいと思います。また、必要に応じて支援計画書への記載をしていきたいです。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。